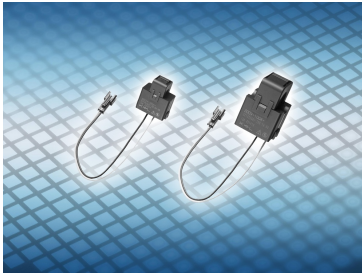


# 電力見える化システム用クランプ型交流電流センサ



- クランプ型構造により、既存の電力設備への取り付けが容易

TDK株式会社（社長：上釜 健宏）は、電力の見える化システム用にクランプ型交流電流センサCCTシリーズを開発し、2014年4月より量産を開始したことを発表します。

近年、地球温暖化やエネルギー資源の枯渇といった地球環境問題を背景に、住宅からマンション、オフィスビル、工場、店舗等、あらゆる施設の創エネ、蓄エネ、省エネを推進する動きが活発化しております。エネルギーを効率良く管理するためには、電力（電流）の把握が不可欠であり、電流センサの需要はますます高まっております。

電流のセンシング方式は、ホール式、磁気抵抗式、フラックスゲート、シャント抵抗等の基板実装を前提とした方法が挙げられます。CCTシリーズは、上記の方式とは異なるクランプ型交流電流センサ方式を採用し、既存の電力設備に対して容易に取り付けが可能です。用途に応じて、適用電流として

30A品、100A品の2種類をラインアップしています。

当社のEMC対策部品のクランプ型ZCATシリーズで培った独自の構造設計及び工法を取り入れ、高品質で安定供給を実現します。

## 主な用途

- 家庭用分電盤、HEMS用分電盤、BEMS/SEMS用分電盤

## 主な特長と利点

- クランプ型でワンタッチの取り付けが可能
- 開放保護素子を内蔵しており、開放時の高電圧を抑制
- 巻線、はんだ等工法の自動化により、高品質・安定供給が可能

## 主な特性

製品名	AC適用電流 [Arms] 50/60Hz	出力電流 [mA] 50/60Hz	2次巻線抵抗 [Ω]
CCT261631-30-06	30	10	492
CCT323047-100-16	100	33.3	285